

単元のゴール	
○ 自分の能力に応じた技を選択し、よりよくできるようにしたり、できそうな新しい技に挑戦できるようになる。	(技能)
○ 互いに学び合い(教え合い)、励まし合いながら、協力して練習に取り組み、堂々と演技できるようになる。	(態度)
○ 自己の課題を捉えるとともに、適切な練習方法を選択し、課題解決に向けて取り組めるようになる。	(知識・思考・判断)

単元に係る生徒の実態 (技能)	単元に係る児童生徒の実態 (態度)	単元に係る児童生徒の実態 (知識・思考・判断)				
小学校では、開脚跳びなど基本的な技(切り返し系)は、ほとんどの生徒ができるようである。また、台上前転など回転系の技も習得している生徒もある。しかし、跳ぶことへの恐怖心から、思い切り跳ぶことができない生徒も少なからずいるようである。	<p>飛び箱の授業は好きですか</p> <table border="1"> <tr> <td>好き: 25人</td> <td>まあまあ好き: 3人</td> </tr> <tr> <td>あまり好きじゃない: 5人</td> <td>嫌い: 3人</td> </tr> </table> <p>飛び箱の授業で期待することは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい技ができるようにしたい</li> <li>・今できる技を更に上手にできるようにしたい</li> <li>・仲間と一緒に課題を解決したい</li> </ul>	好き: 25人	まあまあ好き: 3人	あまり好きじゃない: 5人	嫌い: 3人	多くの生徒が、技能の特性や上手に行うための方法や考え方とする意識を持っている。また、仲間の動きを見て、アドバイスするなど、自分の考えを役立てるようとする様子も見られる。
好き: 25人	まあまあ好き: 3人					
あまり好きじゃない: 5人	嫌い: 3人					

単元のゴール(技能)	単元のゴール(態度)	単元のゴール(知識・思考・判断)
滑らかな基本的な技(回転系)、条件を変えた技、発展技のいずれかができるようにする。	自己の課題解決に向けて進んで活動に取り組み、教え合ったり、安全に留意しながら、協力して練習できるようにする。	自己の課題を適切にとらえるとともに、技の習得に適した練習方法を選ぶことができるようになる。

教師の指導観(技能)	教師の指導観(態度)	教師の指導観(知識・思考・判断)
高さよりも出来栄えを重視し、一連の動きで滑らかにゆとりをもって跳べることに重点を置く。十分に満足できる生徒には、出来栄えに応じて条件をえた技や発展技に挑戦させたい。	できそうな技に積極的に挑戦し、自己の技能の向上とともに技の完成度を高めさせていく。グループ学習・ペア学習を中心に授業を展開し、教え合い、学び合いの態度をもって学習に取り組ませたい。	仲間との関わりの中で、これまでに学習した基礎的な知識や技能を活用し、ペアやグループで自己の課題について思考し、判断したことを探えたり文章にまとめるなどして表現することで、互いに学び合う環境をつくる。

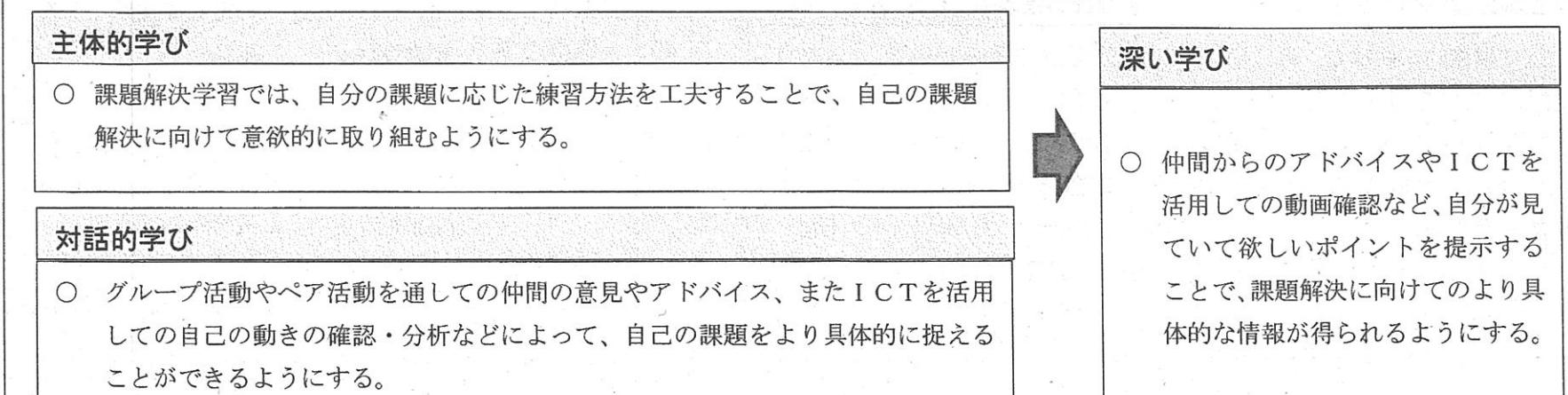
授業のねらいと指導内容及び願う子供の姿	
◎授業のねらい ○指導内容	◆各時間終了後の願う子供の姿
1時間目	◆飛び箱の授業の見通しを持つことができる。
◎「飛び箱の授業の流れを確認する」	◆仲間と協力し、意欲的に活動できる。また、安全面への留意をしっかりと行える。
○ オリエンテーション(単元の見通しを持たせる)	
○ 準備・片付け ○ 準備運動・慣れの運動	
2時間目	◆今の自分にできる技を確認したことで、自分の目標となる技を選ぶことができる。
◎「今の自分にできる技を確認する」	
○ 切り返し系(開脚跳び)・回転系(台上前転)他	
3時間目	◆自分の能力に応じた高さを選択し、台上前転(補助つきも可)ができる。
◎「回転系の技に挑戦する」	
○ 台上前転 ○ 頭はね跳びなど	
4時間目	◆自分の能力に応じた技を選び、発表会に向けて見通しを持つことができる。
◎「目標技を確認する」	
○ 回転系の技の中から、自分の能力に応じた技を選び、発表会で演技する。	
5時間目	◆発表会に向けて、目標技の完成度を上げて、堂々と発表できるようにする。
◎「技の出来栄え高め、成功率を上げる」	
○ 今できる技をより上手にできるようにする。	
○ 技の成功率を上げる。	
6時間目	◆自分の演技を堂々と発表することができる。仲間と演技を見せ合い、互いの成長を認め合うことができる。
◎「これまでに身につけた技能をいかし、堂々と演技する」	
○ グループごとに発表会を行う。	

学習過程						
時	1	2	③	4	5	6
10	オリエンテーション	集合・挨拶・健康観察	・目標技の決定	・発表会に向けて目標技の完成度を高める。	・グループ内で発表会を行う	
25	・グループ編成	・小学生までの授業で、学習した内容で、今の自分にできる技を確認する。	△ 苦手な生徒 ↓	※ 条件回転系の技から選択する	△ 演技に不安がある ↓	・仲間の演技を見て互いに評価し合う。
45	・学習の進め方、約束ごとの確認。	△ 勉強の活用	・安定して技ができる生徒 ↓	・これまでに学習した技げる。	・これまでに学習した技げる。	・単元のまとめ
	・準備運動	・・・	・・・	・・・	・・・	
	・慣れの運動について	・・・	・・・	・・・	・・・	
	・学習カード	・・・	・・・	・・・	・・・	
	・学習のまとめ	・・・	・・・	・・・	・・・	
						整理運動・学習のまとめ・次時の確認・挨拶

ストーリーデザイン	
【1時間目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション</li> <li>・学習の進め方を理解し、単元の見通しを持つ。</li> <li>・準備運動、慣れの運動</li> <li>・グループ活動の進め方や約束について</li> </ul>
【2時間目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今の自分にできる技を確認する。</li> <li>・切り返し系（開脚跳びなど）</li> <li>・回転系（台上前転など）</li> </ul>
【3時間目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 回転系の技に挑戦する。</li> <li>・共通技：台上前転</li> <li>・自分のレベルに応じた高さに挑戦する</li> <li>・頭はね跳びなど発展技への挑戦</li> </ul>
【4時間目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標技を確認する。</li> <li>・自分の能力に応じた技を選ぶ。</li> <li>・発表に向けての見通しを持つ。</li> </ul>
【5時間目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技の出来栄えを高める。または成功率を上げる。</li> <li>・技の出来栄えを高める。</li> <li>・技の成功率を高める。</li> </ul>
【6時間目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループでの発表会</li> <li>・これまでの成果を班で発表し合う。</li> <li>・単元のまとめを行う。</li> </ul>

課題解決練習の具体例	
・低い跳び箱にマットを引いて、その上を転がる（台上前転）	
・ステージなどの高さを利用して、高い位置から倒立姿勢で、体を反らせながらの着地と突き放しからの体を浮かせる練習（頭はね跳び・前方倒立回転跳び）	

本時の目標 「回転系の技に挑戦しよう」					
本時の展開					
導入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習内容・活動</th><th>指導上の留意点（指導と評価）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           1. 集合、挨拶、健康観察            2. 準備運動            3. 慣れの運動            (回転運土・踏切動作・跳び箱着地など)         </td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲間と協力し、準備させる。</li> <li>○ 心を込めて元気良く挨拶させる。</li> <li>○ 十分な間隔をとって怪我の内容に行わせる。</li> </ul> </td></tr> </tbody> </table>	学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）	1. 集合、挨拶、健康観察 2. 準備運動 3. 慣れの運動 (回転運土・踏切動作・跳び箱着地など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲間と協力し、準備させる。</li> <li>○ 心を込めて元気良く挨拶させる。</li> <li>○ 十分な間隔をとって怪我の内容に行わせる。</li> </ul>
学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）				
1. 集合、挨拶、健康観察 2. 準備運動 3. 慣れの運動 (回転運土・踏切動作・跳び箱着地など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲間と協力し、準備させる。</li> <li>○ 心を込めて元気良く挨拶させる。</li> <li>○ 十分な間隔をとって怪我の内容に行わせる。</li> </ul>				
展開	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習内容・活動</th><th>指導上の留意点（指導と評価）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           4. 本時のねらいと学習内容を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「回転系の技に挑戦しよう」</div>            5. 課題解決学習            ① 自己の能力に応じた高さの跳び箱で台上前転に挑戦する。            △ 努力を要する生徒 → 高さを低くして挑戦。            マットの活用            □ 技が安定している生徒 → 高さを高くして挑戦する。            ○ 十分満足とされる状況の生徒 → 発展技への挑戦            (頭はね跳び・前方倒立回転跳びなど)            ② 仲間の演技を見て、互いにアドバイスさせ合う。         </td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時のねらいや学習の流れを理解させる。</li> <li>○ 跳ぶ前に必ず安全確認を行わせる。</li> <li>○ 補助の仕方が適切にできているか確認し、不十分の場合には支援する。</li> <li>○ できそうな技の段階が適切かどうか確認する。</li> <li>○ 仲間の演技をしっかりと見てアドバイスをするよう指示する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">◆ 自己の能力に応じた技を選んでいる 【思①】</p> </td></tr> </tbody> </table>	学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）	4. 本時のねらいと学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「回転系の技に挑戦しよう」</div> 5. 課題解決学習 ① 自己の能力に応じた高さの跳び箱で台上前転に挑戦する。 △ 努力を要する生徒 → 高さを低くして挑戦。 マットの活用 □ 技が安定している生徒 → 高さを高くして挑戦する。 ○ 十分満足とされる状況の生徒 → 発展技への挑戦 (頭はね跳び・前方倒立回転跳びなど) ② 仲間の演技を見て、互いにアドバイスさせ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時のねらいや学習の流れを理解させる。</li> <li>○ 跳ぶ前に必ず安全確認を行わせる。</li> <li>○ 補助の仕方が適切にできているか確認し、不十分の場合には支援する。</li> <li>○ できそうな技の段階が適切かどうか確認する。</li> <li>○ 仲間の演技をしっかりと見てアドバイスをするよう指示する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">◆ 自己の能力に応じた技を選んでいる 【思①】</p>
学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）				
4. 本時のねらいと学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「回転系の技に挑戦しよう」</div> 5. 課題解決学習 ① 自己の能力に応じた高さの跳び箱で台上前転に挑戦する。 △ 努力を要する生徒 → 高さを低くして挑戦。 マットの活用 □ 技が安定している生徒 → 高さを高くして挑戦する。 ○ 十分満足とされる状況の生徒 → 発展技への挑戦 (頭はね跳び・前方倒立回転跳びなど) ② 仲間の演技を見て、互いにアドバイスさせ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時のねらいや学習の流れを理解させる。</li> <li>○ 跳ぶ前に必ず安全確認を行わせる。</li> <li>○ 補助の仕方が適切にできているか確認し、不十分の場合には支援する。</li> <li>○ できそうな技の段階が適切かどうか確認する。</li> <li>○ 仲間の演技をしっかりと見てアドバイスをするよう指示する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">◆ 自己の能力に応じた技を選んでいる 【思①】</p>				
まとめ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習内容・活動</th><th>指導上の留意点（指導と評価）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           6. 整理運動            ・班ごとに整理運動を行う。            7. 本時の評価と次時の課題等の確認            ・学習カードに本時の評価をする。            8. 挨拶・片づけ         </td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班で協力し、片づけを行わせる。</li> <li>○ 怪我の有無と体調を確認する。</li> <li>○ 心を込めて元気良く挨拶させる。</li> </ul> </td></tr> </tbody> </table>	学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）	6. 整理運動 ・班ごとに整理運動を行う。 7. 本時の評価と次時の課題等の確認 ・学習カードに本時の評価をする。 8. 挨拶・片づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班で協力し、片づけを行わせる。</li> <li>○ 怪我の有無と体調を確認する。</li> <li>○ 心を込めて元気良く挨拶させる。</li> </ul>
学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）				
6. 整理運動 ・班ごとに整理運動を行う。 7. 本時の評価と次時の課題等の確認 ・学習カードに本時の評価をする。 8. 挨拶・片づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班で協力し、片づけを行わせる。</li> <li>○ 怪我の有無と体調を確認する。</li> <li>○ 心を込めて元気良く挨拶させる。</li> </ul>				



今後の展開
【4時間目】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標技を確認する。</li> <li>・回転系の技から自分の目標技を決める。 【生徒に身につけさせたい動き】</li> <li>・自分の能力に応じた技を選択する。</li> </ul>
※ 高さよりも出来栄えを重視する。
【5時間目】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技の成功率を上げ、出来栄えを高める。</li> <li>【生徒に身につけさせたい動き】</li> <li>・力強い踏切・正しい着手と突き放し</li> <li>・美しい空中姿勢・安定した着地</li> </ul>
【6時間目】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演技発表会</li> <li>・グループ内で仲間と演技を発表し合う。</li> <li>【生徒に身につけさせたい動作】</li> <li>・堂々とした演技</li> <li>・互いの成果を認め合い、相手に伝えることができる。</li> </ul>
次年度へ向けて
・3年生では、陸上と機械運動との選択となる。

願う子供の姿
・仲間と協力して、考えたり、挑戦したりしたことで、意欲的に授業に取り組んでいる。
・自己の課題を適切に捉え、課題解決に向けて、工夫して練習に取り組むことができる。
・仲間とアドバイスをし合うことで、自分の課題をより具体的にとらえることができる。